

第二の人生の歩み方

～ 過去から未来へのつながり ～

100歳以上の人口が初めて10万人を超え、65歳以上の就労人口も過去最多となりました。
様々な人生の節目を迎えながら、改めて自分の人生をどう歩むのかが問われる時代。
自分らしい、社会や地域とのつながり方を一緒に考えてみませんか。



● 講師 小池 ひづる 氏

第1部 基調講演

海外ボランティアを通して 私が学んだこと

茅野市出身。富士見町立沢在住の66歳。
諏訪赤十字病院、富士見高原医療福祉センターにて
長年、看護師として医療・介護に従事。
退職後「JICA海外協力隊」のシニア隊員として
発展途上国の高齢者介護を経験。
任期：2024年5月～2026年5月終了にて帰国。
現在は夫と農業を営んでいる。

第2部 パネルディスカッション

～ 私たちにとって第二の人生とは ～

- コーディネーター
原村社会福祉協議会 小林 真知子
- パネリスト



篠原 昭仁 氏（中新田／79歳）

58歳でJAを定年退職後、農業に従事。
民生・児童委員として区内の子ども達に関わり、積極的な交流活動を実践。長年、少年警察ボランティアとして村内の子ども達の見守りを継続。また、切り絵を趣味とし、R8年3月に羊毛フェルトを趣味とする奥様との「二人展」を原村図書館にて開催。



小谷 祥子 氏（弘沢／58歳）

諏訪市出身。
結婚を機に原村に居住。
長年セイコーエプソンに勤務し、R7年9月に早期退職。
夢だった「日本語教員」の国家資格を取得。
昨年度から、山梨県甲府市の日本語学校にて教壇に立つ。



丹尾 淳 氏（上里／57歳）

6年前に神奈川県から夫婦で移住。
5年間は大手メーカーの仕事を継続するため、二拠点生活を経験。R7年3月末で会社を早期退職。
R8年4月に、原村ねこの手サービスの協力会員に登録。地域に根付く「ありがとう、お互いさま」の活動を積極的に行っている。

日時

令和8年

11月25日(水)
13:30～15:30

場所

**原村中央公民館
講堂**



どなたでもご参加いただけます。
原村社会福祉協議会へのお電話
もしくは、右記のQRコードより
お申し込みください。



研修会タイムスケジュール

- 13:30 開会・主催者挨拶
- 13:35 第1部 基調講演
海外ボランティアを通して
私が学んだこと
 - 講師 小池 ひづる 氏
(富士見町 / 66歳)



パノラマスキー場を
満喫するタイの医師団

- 14:25 (休憩)

- 14:35 第2部 パネルディスカッション
～ 私たちにとって第二の人生とは ～
 - コーディネーター
原村社会福祉協議会 小林真知子
 - パネリスト
篠原 昭仁 氏 (中新田 / 79歳)
小谷 祥子 氏 (払沢 / 58歳)
丹尾 淳 氏 (上里 / 57歳)

- 15:10 Q&Aタイム

- 15:25 閉会



富士見高原医療福祉センター
中新田診療所長、丸山恵子医師から
説明を受ける、タイ看護大学の教授と看護師



村内と富士見町の
小規模多機能型居宅介護「ひめばら」、「一本松の家」を視察

